

1 前回のリアクジョン(多文化教育その2)を読んだ感想

10の立場から自分の意見を言うことはなかなか難しく、現在も進められていくことが大事だと思った。違った視点を持つこと重要なんだと感じた。

2 アフリカ(合衆国)についてどのように思うか。(移民の国、人種のある国、原爆(核)を一番持つ国、世界デザインニードの国、世界の最先端を行く国、あこがれの国?) (周りの人と意見交換をして)

わたしの教女たち
日本
歴史順
論理的

世界最大の国
自由な国

自由
開放的
楽観的
20歳まで
行きたい国

よ

3 差別とは何か、人種に関する差別意識はあるか。差別を感じるのとはどのような時か(国、地域、ジェンダー、貧富、学歴、職業、価値観、趣味、その他) (周りの人と意見交換をして)

性別の差

性別別の差は、半永続的なものではない。世帯収入や職業によって、男女の役割が異なる。そのため、性別を理由に差別を感じることは、社会的な規範によって形成される。

黒人と白人

4 ピデオ「教室は目の色で分けられた」の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

1 前回のリアクジョン(多文化教育その2)を読んだ感想

10の立場から自分の意見を言うことはなかなか難しく、現在も進められていくことが大事だと思った。違った視点を持つこと重要なんだと感じた。

2 アフリカ(合衆国)についてどのように思うか。(移民の国、人種のある国、原爆(核)を一番持つ国、世界デザインニードの国、世界の最先端を行く国、あこがれの国?) (周りの人と意見交換をして)

わたしの教女たち
日本
歴史順
論理的

世界最大の国
自由な国

自由
開放的
楽観的
20歳まで
行きたい国

よ

3 差別とは何か、人種に関する差別意識はあるか。差別を感じるのとはどのような時か(国、地域、ジェンダー、貧富、学歴、職業、価値観、趣味、その他) (周りの人と意見交換をして)

性別の差

性別別の差は、半永続的なものではない。世帯収入や職業によって、男女の役割が異なる。そのため、性別を理由に差別を感じることは、社会的な規範によって形成される。

黒人と白人

4 ピデオ「教室は目の色で分けられた」の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

差別意識は目の色で分けられた1の感想

1 前回のリアクシオン(多文化教育その2)を読んだ感想

大島・長崎への原爆投下について、様々な伝え方があると思いた。

2 アメリカ(合衆国)についてどのように思うか。(移民の国、人種のつぼの国、原爆投下を一番持つ国、世界デイズニーションの国、世界の最先端を行く国、あこがれの国?) (周りの人と意見交換をして)

アメリカは自由な国というイメージがある。また、様々な人種・宗教をとり入れている国だと思う。またアメリカ人は自分の意志をしっかりと、どんな状況でも自分の意見を言えるところ、すごいなと思う。

アメリカのデイズニーションは、大学生のうちに行動したいと思う。

3 差別とは何か、人種に関する差別意識はあるか。差別を感じるのとはどのような時か(国、地域、ジェンダー、貧富、学歴、職業、価値観、趣味、その他)(周りの人と意見交換をして)

差別は 区別することのうりは「区別」と思う。私も小学生の時にクラスに障がいをもつ友達がいて、入学した時は仲が良かったのに、その子のうりや態度によって差別が生まれ、いじめへと発展していった。

4 デフォ「教室は目の色でわけられた」の感想

はじめは「青い目」「茶色い目」で分けられることを嫌がっていた子どもたち。先生が「それって何か?」と遊び話をすると「目」と言うことで「どんな色で分けられているか?」と印象にのこった。

自分は特別と考えることで、態度や勉強面にも影響が及ぶというのを「目」を思い、黒い目と目をした時の子どもたちの笑顔が本当にかわいくて、お互いの気持ちと味わったその後の笑顔がとてすてた。

この授業を見て、子どもたちは「目」を本当に大丈夫なのか、と不安に感じたりした。目や顔から先生と生徒との信頼関係があったからこそ実現できた授業なんだと思うと、すごいなと思った。

1 前回のリアクシオン(多文化教育その2)を読んだ感想

原爆投下について自分たちは原爆の被害者ばかりだったのだから、それ以外の人は被害者ではないと思いた。

2 アメリカ(合衆国)についてどのように思うか。(移民の国、人種のつぼの国、原爆投下を一番持つ国、世界デイズニーションの国、世界の最先端を行く国、あこがれの国?) (周りの人と意見交換をして)

個人的には好きで行った国。(本編の「アメリカ」は、地球を見たい。) 政治経済の自由が文化発展につながった国。日本と比べて何をかまがりがりと感じる。世界を一番好きが国。感想がバババ (反響)

3 差別とは何か、人種に関する差別意識はあるか。差別を感じるのとはどのような時か(国、地域、ジェンダー、貧富、学歴、職業、価値観、趣味、その他)(周りの人と意見交換をして)

差別とは特定の集団や属性に属する個人に対して特別に扱われる行為。私は特に人種差別意識は外国人に対してはそれと少し違う。差別を感じるの100%は外国人に対してはそれと少し違う。

4 デフォ「教室は目の色でわけられた」の感想

自分の目も他人が黒い目をしていい印象をもらっていた。目や顔の差別をしていい印象をもらっていた。

茶色の生徒だけが理由で差別されていくのはとても苦しかった。細かいところから先生の話がわかるようにしたい。いじめは発展していかない。

この興味深い授業を感じた。差別というものがどれくらいあるのか、子供に教えるのは非常に難しいと感じた。